

# 館山市立博物館年報

平成 26 年度版



## ごあいさつ

この『館山市立博物館年報』は、当館の1年間活動を、多くの皆様にご覧いただき、よりよい博物館を創り上げていくために作成しているものです。

平成26年度は、各種講座の開催に加え、当施設が蒐集してきた資料を紹介する『収蔵資料展』、郷土の文化・歴史を紹介する『新地区展 北条』のほか、江戸幕府徳川氏による戦国大名里見氏の国替えから400年目を迎えたことから特別展『里見氏安房国替400年』などの展示を行いました。

いずれも、成功裏に終了することができ、皆さまにとってなじみが薄い郷土の文化・歴史の調査研究、文化資料の保護といった地域に対する博物館の業務についてご理解を深めていただいたのではないかと感じております。

今後も人で賑わい、魅力であふれる、地域からも愛され、理解され続けられる博物館として運営していく上で、この『館山市立博物館年報』が、皆さまからのご理解ご協力を賜ります一助となれば幸いです。

平成27年9月30日

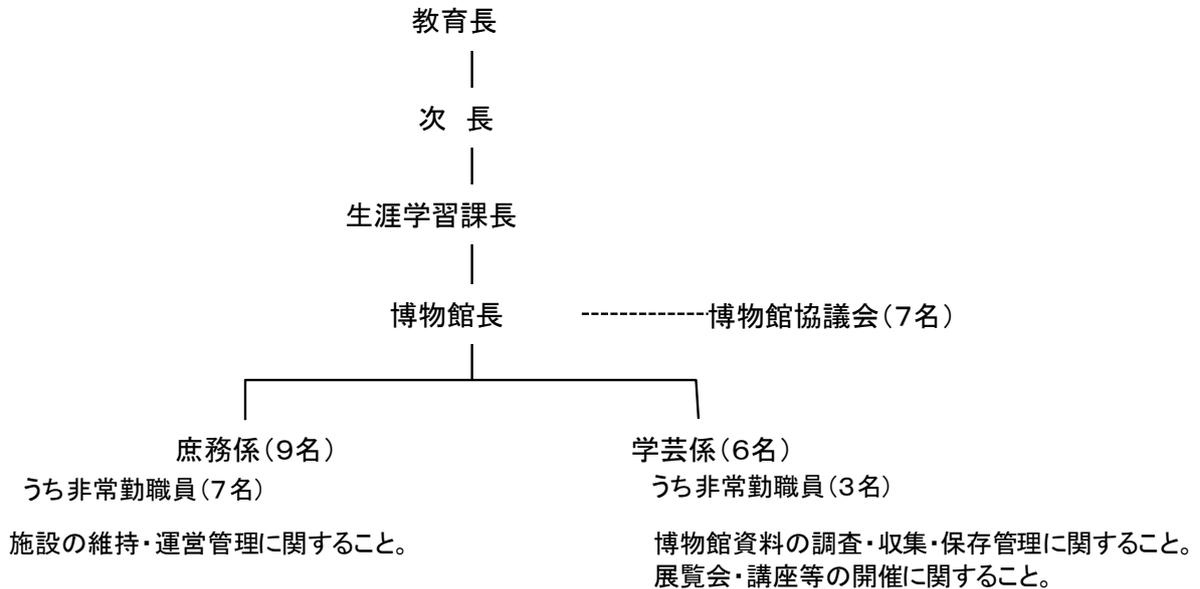
館山市立博物館

## 目 次

I 組織と運営	2
(1 組織図 / 2 施設 / 3 博物館協議会 / 4 決算 / 5 事務事業)	
II 利用状況	4
(1 入館者数 / 2 学校等の利用 / 3 資料の利用)	
III 展示活動	8
(1 常設展 / 2 企画展・特別展)	
IV 教育・普及活動	12
(1 出版物の刊行 / 2 講座・教室)	
V 調査・研究活動	15
(1 学芸員の活動)	
VI 資料の収集・保存	17
(1 新規収蔵資料)	
VII 例規	19

# I 組織と運営

## 1 組織図



## 2 施設

名称		位置	備考
館山市立博物館	本館	館山市館山 351 番地の 2	昭和 58 年(1983)開館
	館山城(八犬伝博物館)	館山市館山 351 番地の 2	昭和 57 年(1982)開館
館山市立博物館分館	“渚の駅”たてやま 渚の博物館	館山市館山 1564 番地の 1	千葉県から移譲(平成 23 年:2011) 旧千葉県立安房博物館

## 3 博物館協議会

(平成27年3月31日現在)

区分	氏名	役職等
学校教育	丸上 俊雄	館山市立那古小学校長
社会教育	石井 則子	館山市社会教育委員
家庭教育	須田 啓子	元家庭教育指導委員
学識経験者	嘉村 茂邦	秀明大学特任教授
	相山 林繼	国学院大学名誉教授
	小島 孝夫	成城大学教授
	山本 志乃	旅の文化研究所

### 協議会会議

開催日時: 平成27年2月26日(木)

会場: 博物館 会議室

議題: ①会長・副会長互選

②平成26年度事業報告

③平成27年度事業計画について

④博物館運営規則の一部改正について

⑤その他

4 決算

歳入額 : 19,852,591 円

(内訳)

予算科目	収入額(千円)	備 考
博物館観覧料	15,423	
財産貸付	79	自動販売機設置敷地貸付料
基金利子	12	館山市文化振興基金運用益
出版物等売却代	1,681	博物館作成図録等
展示事業補助金	2,504	(公財)日本海事科学振興財団
その他	153	

歳出額 : 33,933,827 円

(内訳)

事業名	支出額(千円)	備 考
博物館運営事業	19,548	
博物館施設管理事業	8,899	
博物館展示・学習支援事業	3,802	
博物館資料収集調査事業	1,684	

入館料)

(本館・館山城)

区 分		観覧料(1人につき)	
		個人	団体
常設展	小学校・中学校 ・高校生	150円	100円
	一般	300円	250円
特別展	1人につき500円以内で、その都度別に定める。		

※ 分館(「渚の駅」たてやま」渚の博物館)は無料

5. 事務事業

- 博物館運営事業 : 施設運営に係る事務事業
- 博物館施設管理事業 : 施設の維持管理、運営
- 博物館展示・学習支援事業 : 各種展示事業、及び各種講座・講演会の開催
- 博物館資料収集調査事業 : 安房地域の歴史・文化・自然等に関する資料の収集・保存・研究

## II 利用状況

### 1 入館者数

#### (1) 本館・館山城入館者数

平成26年度月別

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	
平成26年度	本館	大人	1,047	1,117	628	463	534	994	1,271	844	563	323	623	932	9,339
	小人	216	274	86	200	176	210	394	142	38	82	42	64	1,924	
城	大人	6,903	6,678	2,377	2,111	3,738	2,407	2,863	3,554	1,990	3,414	3,152	6,570	45,757	
	小人	1,342	1,279	373	621	1,448	333	344	434	323	596	357	1,500	8,950	
総合計 65,970	大人	7,950	7,795	3,005	2,574	4,272	3,401	4,134	4,398	2,553	3,737	3,775	7,502	55,096	
	小人	1,558	1,553	459	821	1,624	543	738	576	361	678	399	1,564	10,874	

#### 年度別推移

(人)

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
本館	大人	12,576	12,039	8,211	8,887	9,555	8,324	9,339
	小人	5,234	2,062	2,502	2,014	1,799	1,454	1,924
城	大人	41,655	44,635	37,431	37,402	41,684	35,264	45,757
	小人	5,143	9,073	7,739	7,932	8,368	6,662	8,950
計	大人	54,231	56,674	45,642	46,289	51,239	43,588	55,096
	小人	10,377	11,135	10,241	9,946	10,167	8,116	10,874
総合計		64,608	67,809	55,883	56,235	61,406	51,704	65,970

参考) 分館(「渚の駅」たてやま」渚の博物館)入館者数:年度別

(人)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
入館者数	6,503	127,531	128,846	89,679

※ 供用開始日 : 平成24年3月25日

## (2) 展示・講座等参加者数

区分	企画名・会期	参加者(人)
収蔵資料展	あたらしい資料のご紹介 H26・4・19～6・8	14,615
企画展	新・地区展「北条ーにぎわう安房の玄関口ー」 H26・11・1～12・14	6,397
特別展	里見氏安房国替 400 年「里見氏の遺産」 第Ⅰ期 城下町館山ー東京湾の湊町 H26・9・16～10・19	6,729
	第Ⅱ期 古文書 H27・2・14～3・22	6,521
分館開催	復活した渡米漁民の万祝ー米国モンレーとの交流ー H26・4・5～4・20	4,217
	南房総たてやまを描く絵画展 H26・4・26～5・11	8,124
	青木繁「海の幸」オマージュ展(第1会場) H26・8・5～8・31	13,441
おもな講座	歴史教室「古文書を読んでみよう」(全5回)	518
	わたしの町の歴史探訪「館山城下町」	36
	同 「北条地区」	41
	歴史体験教室「甲冑を着よう」	740

## 2 学校等の利用 (おもなもの)

## (1) 本館・館山城

26. 5. 14	市立館山第二中学校 (グループ学習) 64 名	7. 9	市立館山小学校 69 名
6. 25	市立那古小学校 36 名	9. 10	市立館山小学校 (昔の暮らし学習) 68 名
9. 19	市立西岬小学校 (昔の暮らし学習) 8 名	9. 26	市原市立辰巳公民館 36 名
9. 30	南房総市立南三原小学校 (昔の暮らし学習) 32 名	10. 15	市立北条小学校 (昔の暮らし学習) 71 名
10. 22	南房総市立富浦小学校 (昔の暮らし学習) 37 名	10. 29	南房総市立丸小学校 (昔の暮らし学習) 13 名
10. 28	市立北条小学校 (昔の暮らし学習) 71 名	11. 5	市立那古小学校 (昔の暮らし学習) 60 名
27. 1. 28	大網白里市海岸地形の振興を進める会視察	3. 6	市原市五井公民館

## (2) 渚の博物館

26. 7. 21	東京海洋大学フレッシュマンセミナー45 名	27. 3. 4	君津市上総公民館 24 名
-----------	-----------------------	----------	---------------

### 3 資料の利用

#### (1) 放映・掲載など

申請日	資料名	掲載・放映媒体
26. 4. 9	館山城展示風景	テレビ朝日「路線バスで寄り道の旅」
4. 14	海老原家文書（受託資料）	TBS テレビ「アイム冒険少年」
4. 17	絵はがき「館山海岸に揚がった鯨」他	読売テレビ「秘密のケンミンSHOW」
4. 26	資生堂薬品広告	竹書房『江戸東京幕末維新グルメ』
4. 29	館山藩旗指物・砲弾 他	軍事史学会『軍事史学』
5. 21	沖ノ島遺跡採取遺物	NHK Eテレ「Rの法則」
6. 1	版画「大日本六十余州之内安房 里見の姫君伏姫」他	日本コロムビア吟詠音楽会 南関東ブロック大会（プロジェクト放映）
6. 10	渚の博物館展示風景（捕鯨関係資料）	フジテレビ「スーパーニュース」
6. 16	竹岡台場図（「砲台縮図絵巻」）	洋泉社『歴史 REAL 吉田松陰と妹文の青春』
7. 2	神田家文書「神田吉右衛門宛感謝状」	二宮尊徳の会『ボーイズ・ビー・アンビシャス第5集 内村鑑三 神と諧なる戦い』
7. 19	版本『南総里見八犬伝』他	テレビ朝日「パネルクイズ アタック 25」
7. 21	版画「大日本豪傑水滸伝 里見義実」	同志社大学国文学会『同志社国文学』81号
8. 6	館ノ前遺跡出土 土製模造品 他	山梨県立考古博物館特別展「掘り起こされた音の形—まつりと音具の世界—」（パネル・図録等）
8. 6	『孫真人玉函方』	大修館書店『新版 漢方の歴史』
8. 8	版画「芳流閣両雄動」他	第33回里見まつりパンフレット
8. 19	版本『南総里見八犬伝』他	フジテレビ「ニュース JAPAN」
9. 3	里見義康像（『英名百雄伝』）	産経新聞栃木版連載「小山評定の群像」
9. 5	「長尾城地分見縮図」（受託資料）	デアゴスティーニ・ジャパン『週刊 日本の城』
9. 8	館山城展示風景	ちばぎん総合研究所『ひまわり倶楽部』
9. 11	唐棧織柄見本	ギャラリーM 写真展示
9. 27	鯨解体写真	テレビ東京「ふしぎな2人の物語」
10. 7	版画「八犬士忠勇揃」他	東京新聞記事「南総里見八犬伝特集」
10. 8	沖ノ島遺跡出土遺物	沖縄県立博物館・美術館特別展図録『水申文化遺産～海に沈んだ歴史のカケラ～』
10. 13	「萬祝模様雛形」他	九十九里町いわし資料館展示解説グラフィック
11. 12	『安房震災写真帖』他	浜島書店『千葉県 地域の歴史を調べよう』
11. 19	版画「酒顔治退治の場」他	開隆堂出版『美術 表現と鑑賞 千葉県版』
11. 25	菱川師宣「鯛釣り恵比寿雀踊りの図」	鋸南町歴史民俗資料館特別展図録『目出度面白江戸絵画』
11. 27	手こぎの漁船（模型）	小峰書店『道具のうつりかわり事典』
11. 28	安房上総御固図屏風	木更津異業種交流プラザ「ふる里再発見カレンダー」
12. 3	洲崎台場図（「砲台縮図絵巻」）	洋泉社『江戸 300 藩物語藩史 関東編』

12.3	版画「八犬伝犬の草紙之内 尼妙椿」 他	千葉県立中央博物館企画展「妖怪と出会う夏 in chiba 2015」(パネル・図録等)
12.9	版画「八犬伝犬の草紙之内 尼妙椿」 他	千葉県博図公連携事業実行委員会パンフレット「千葉のものけ大集合」
12.9	醍醐新兵衛肖像画	BS ジャパン「ローカル偉人最強伝説！」
27.1.8	唐棧織工程・道具写真 他	高崎市染料植物園企画展(パネル・印刷物等)
1.24	絵はがき「安房北條駅」 他	NHK BS プレミアム「新日本風土記」
1.27	版画「義勇八犬伝」 他	倉吉せきがね里見まつりパネル
1.27	版画「里見八犬伝 魁 里見息女伏姫」	千葉県博図公連携事業実行委員会「ものけ展示キット」展示パネル
2.3	「里見内蔵丞吉政由緒書」	里見の郷委員会『ぐんま里見の郷再発見伝』3号
2.10	曲亭馬琴肖像(『戯作六家撰』)	日本テレビ「ゆりはかつーリスト」
2.13	渚の博物館展示風景	テレビ東京「ドラGO！」
2.26	鯛桂網漁ジオラマ 他	千葉日報
3.5	絵はがき「館山海軍航空隊」	テレビ東京「なないろ日和」
3.11	版画「大日本物産図会 上総国鯉漁之図」	日本テレビ「ザ!鉄腕!DASH!!」
3.18	版本『南総里見八犬伝』 他	学研教育出版『まんがで読む南総里見八犬伝』

(2) 貸出

申請日	資料名	貸与先(利用目的)
26.3.11	関沢明清関係資料(任命状・勲章他)	金沢ふるさと偉人館企画展「近代水産業のパイオニア 関沢明清」
8.6	館ノ前遺跡・つとるば遺跡・南台遺跡出土遺物(土製模造品)	山梨県立考古博物館特別展「掘り起こされた音の形〜まつりと音具の世界〜」
8.21	石山透脚本「新八犬伝」原稿・放送台本他	市立小樽文学館特別展「石山透と少年少女ドラマの時代」
10.8	沖ノ島遺跡出土遺物	沖縄県立博物館・美術館特別展「水中文化遺産〜海に沈んだ歴史のカケラ〜」
10.30	菱川師宣「鯛釣り恵比寿雀踊りの図」	鋸南町歴史民俗資料館特別展「目出度面白江戸絵画」
10.23	峯古墳出土ガラス玉・つとるば遺跡出土遺物 他	鴨川市文化財センター企画展「よみがえる古墳文化―古墳時代の資料を中心に―」
11.15	万祝	國學院大學博物館ミュージアムトーク

### Ⅲ 展示活動

#### 1 常設展

本館民俗展示室では、通常の常設展示のほか、季節展示を行いました。また、企画展示室の一部を「岩崎巴人記念室」とし、館山市名誉市民の称号を贈られた水墨画家、故岩崎巴人氏の作品を常設展示しました。また、企画展・特別展で企画展示室を利用しない期間は、テーマ展示「安房の仏教美術」を行いました。

渚の博物館企画展示室では、企画展等で利用する期間を除き、テーマ展示「安房の伝統工芸」を開催しました。

#### 2 企画展・特別展

##### (1)新収蔵資料展「あたらしい資料のご紹介」

◆期 間 平成26年4月19日(土)～6月8日(日) 開館45日

◆会 場 本館 企画展示室

◆概 要 前年度に加わった新たな収蔵資料の一部を紹介しました。また、コーナー展示として、館山小学校へ贈られた青い目の人形を借用して特別公開しました。展示資料数77点+1点(青い目の人形)

◆印刷物 ポスター・解説シート

◆関連事業 ①語り「富田先生の青い目の人形」(語り部「さくら貝」松苗禮子氏)・紙芝居「原爆の子 さだ子の願い」(子供の文化研究所 宮崎二美枝氏)  
5/6(火・祝)

②語り「富田先生の青い目の人形」・「小沼の花咲か和尚さん」(ともに松苗禮子氏) 5/31(土)



##### (2)特別公開「復活した渡米漁民の万祝—米国モントレイとの交流—」

◆期 間 平成26年4月5日(土)～4月20日(日) 開館16日

◆会 場 渚の博物館 企画展示室

◆概 要 南房総と米国モントレイを結ぶ交流の証である「モントレイ万祝」は、市立博物館とモントレイにそれぞれ1点ずつ所蔵されています。モントレイ日系人会の企画により、博物館所蔵「モントレイ万祝」によって型紙を製作した万祝が、万祝染職人の伝統技法によって完成しました。これを記念して、米国カリフォルニア州モントレイでの展示に先立ち、復元された万祝を他の関連資料とともに特別公開しました。展示資料数45点。

◆関連事業 ①ミュージアムトーク「房州とモントレイ」(担当学芸員) 4/12(土)

②ワークショップ「万祝の型染体験」(講師：鴨川萬祝染「鈴染」鈴木幸祐氏) 4/19(土)



左が原品、右が復元万祝

(3)南房総たてやまを描く絵画展【共催事業】

◆期 間 平成26年4月26日(土)～5月11日(日)

開館15日

◆会 場 渚の博物館 企画展示室

◆主 催 館山を描く絵画展実行委員会

◆概 要 NPO 法人地域美術展協会が全国各地で開催している公募展「地域を描く美術展」の第27回として開催しました。館山周辺の風景などを描いた絵画143点の出品があり、入選・入賞作品に賛助出品2点を加えた80点を展示しました。最終日には、会場において入賞作品の表彰式を行いました。



(4)青木繁「海の幸」オマージュ展

◆期 間 【第1会場】平成26年8月5日(火)～8月31日(日) 開館26日

【第2会場】平成26年8月5日(火)～8月24日(日) 開館19日

◆会 場 【第1会場】渚の博物館 企画展示室 【第2会場】館山市コミュニティセンター

◆概 要 青木繁が代表作「海の幸」を描いた地である小谷家住宅(館山市布良)の復元・保存・公開を目指して活動するNPO法人青木繁「海の幸」会が、全国で開催しているオマージュ展の第7回として、館山の2会場で行いました。第1会場では、会員の作品23点に加え、青木繁のデッサン10点(個人蔵)を展示しました。第2会場では、会員の作品53点、館山美術会会員の作品21点などを展示しました。

◆印刷物 ポスター・チラシ・リーフレット(カラー8頁)

◆関連事業 ギャラリートーク①(講師:永井画廊代表取締役 永井龍之介氏) 8/5(火)

ギャラリートーク②(講師:美術評論家 金澤毅氏) 8/23(土)



第1会場(渚の博物館)



第2会場(コミュニティセンター)

(5)新・地区展「北条—にぎわう安房の玄関口—」

◆期 間 平成26年11月1日(土)～12月14日(日) 開館38日

◆会 場 本館 企画展示室

◆概 要 市内10地区の歴史と文化財を紹介する「新・地区展」シリーズの第3回として、北条地区を取り上げました。北条地区の中心部には、近世初期以降町場が造成され、江戸時代には諸藩の陣屋も置かれました。近代になると安房郡役所や警察署などの公的施設が多く建てられ、さらに汽船や列車といった交通網の整備により、

観光地化も進みました。安房の中心地・玄関口として人々や物資・情報が集いにぎわう町、北条地区について、関連資料によって紹介しました。展示資料数 142 点。

◆印刷物 ポスター・しおり・図録（カラー8頁）

◆関連事業 ①展示解説会 11/8（土）・12/13（土）

②第34回わたしの町の歴史探訪「北条地区—南町・新宿・長須賀—」11/9（日）



(6) 里見氏安房国替 400 年特別展・第 I 期「里見氏の遺産・城下町館山—東京湾の湊町—」

◆期 間 平成 26 年 9 月 6 日（土）～10 月 19 日（日） 開館 38 日

◆会 場 本館 企画展示室

◆概 要 里見氏が安房を離れて 400 年という節目の年であったことから、里見氏と館山という町の関連について紹介し、里見氏が遺した館山の町について、里見氏が安房を離れてからの館山の町はどのような性格をもった町だったのか、里見氏の時代にどのように町がつくられていったのかを考えました。そして、豊臣秀吉・徳川家康に仕えた館山城主里見義康・忠義父子の時代を中心に、東京湾での湊機能を活かしながら館山城下町が成立していく過程を追い、安房の地に果たした里見氏の役割を紹介しています。さらに、江戸幕府のお膝元として江戸が成長を始めるなか、東京湾の入口にある館山がどのような意味を持ったのか、海という視点から町の歴史を考えていただく機会としました。

展示内容は、「Ⅰ. 江戸・明治時代の館山」で海上交通を輸送手段として多くの船が出入りしていた様子を示し、「Ⅱ. 町の起源を探る」で館山城の城下町として市が開設され商人たちを中心に町ができ運営される様子と、核となった館山城の姿を紹介しました。さらに戦国期にさかのぼって「Ⅲ. 東京湾の里見氏」で、東京湾の水軍を掌握した里見氏と、東京湾の往行商人との関係を紹介、「Ⅳ. 天下人の時代」で、城下町が作られていく慶長期を中心に、近世大名としての里見氏や安房の支配体制を紹介しました。最後に「Ⅴ. お国替え」で、里見氏移封後の安房の支配体制と町が維持されていく様子を紹介して、里見氏の時代からの町の連続性と交通手段の変化による町の移り変わりを理解しました。なお、本展覧会の開催にあたっては、(公財) 日本海事科学振興財団より「海と船の企画展」支援対象事業として助成を受けました。展示資料数 87 点。



- ◆関連事業 ①講演会「城下町の歴史—中世から近世へ—」（講師：国立歴史民俗博物館教授 小島道裕氏）  
9/23（火・祝）
- ②展示解説会 9/13（土）・10/11（土）
- ③第33回わたしの町の歴史探訪「館山城下町」3/1（日） ※10月開催予定のところ、荒天により延期。

◆印刷物 ポスター・チラシ・しおり・図録（カラー56頁）

(7) 里見氏安房国替400年特別展・第Ⅱ期「里見氏の遺産・古文書」

◆期間 平成27年2月14日（土）～3月22日（日） 開館33日

◆会場 本館 企画展示室

◆概要 里見氏が遺したものとして寺社や家臣の子孫に伝えられた古文書を紹介しました。博物館で収蔵する里見氏に関する古文書を通して、里見氏と安房の人々がどのように関わったのかを考えながら、里見氏が遺した古文書について解説しました。6章に分けた展示構成は、まず「Ⅰ. 古文書の種類と形」で古文書の様式や折り方・巻き方・封の仕方などにも目を向け、文字だけでなく様々な楽しみ方があることを紹介し、次に、多くの古文書を伝えていた上野家と岩崎家の古文書を集めて、「Ⅱ. 家臣の家系に残された古文書群」「Ⅲ. 城下町の歴史を伝える古文書群」として、テーマ設定をして紹介しました。そして「Ⅳ. 古文書の保存」として、古文書を折帖仕立や卷子装・軸装などに表装して大切に保存されてきた様子や、本紙の写しが作られたもの、切断された一部でも残されてきた様子を紹介しました。最後に、明治時代の内閣修史局による「Ⅴ. 明治時代の古文書調査」の様子や、その後の里見氏文書の調査と成果の公表を「Ⅵ. 古文書調査の成果」として紹介しました。展示資料数66点。

◆関連事業 展示解説会 2/21（土）・3/14（土）

◆印刷物 ポスター・しおり・図録（カラー8頁）



## IV 教育・普及活動

### 1 出版物の刊行

(1)館報「ミュージアム発見伝」第89号

◆刊行時期 平成27年2月25日

◆部数 2000部

◆概要 平成26年度特別展「里見氏の遺産」第Ⅰ期・第Ⅱ期の概要や、海岸ホテルが作成した宣伝用小冊子『健康地としての房州』の資料紹介、南総里見八犬伝に登場する「廻国の頭陀」に関するコラムなどを掲載しました。

(2)文化財マップ

①「石彫師 武田石翁を訪ねて2（南房総市編）」

◆刊行時期 平成26年5月

◆概要 近世後期に活動した石彫師・武田石翁は、安房国平郡本織村（現南房総市本織）の出身で、寺社などに多くの作品を残しました。館山市編に続き、南房総市内の作品を博物館ミュージアム・サポーター「絵図士」6名（青木悦子・金久ひろみ・佐藤博秋・佐藤靖子・鈴木正・吉村威紀）が調査し、文化財マップを作製しました。これまでに作製された文化財マップは、本館1階で配布しています。

### 2 講座・教室

(1)歴史体験教室「甲冑を着よう」

◆開催日 平成26年4月6日（日）～3月29日（日） 計66日 毎週日曜・祝日開催

◆会場 本館 集会室ほか

◆概要 入館者が戦国時代の甲冑（レプリカ）を着用し、その重さや感触を体験することにより、当時の武具に対する認識を深め、歴史への興味・関心を持つことを目的としています。また、甲冑の着付けや着用方法・基礎知識の解説はミュージアム・サポーター「甲冑士」が行っており、ボランティアの学習・活動の場ともなっています。体験用甲冑は2領（赤糸威・紺糸威）あり、1領ずつ日替わりで使用しています。

◆参加人数 740人

(2)ミュージアム・サポーター（甲冑士）養成講座

◆開催日 平成26年6月28日（土）

◆会場 本館 集会室ほか

◆概要 歴史体験教室「甲冑を着よう」において、甲冑着用を希望する入館者に着付けを行い、着用方法や甲冑の基礎知識を解説するボランティアであるミュージアム・サポーター「甲冑士」の新規募集と養成を行いました。養成講座の終了後、体験教室で現場実習を行い、3名全員を甲冑士として認定しました。

◆参加人数 3人



(3) ミュージアム・サポーター（絵図士）養成講座「文化財の調べ方—石造物調査と拓本の取り方—」



- ◆開催日 平成26年5月24日（土）
- ◆会場 本館 集会室・屋外展示場
- ◆講師 千葉県文化財保護協会理事長 早川正司氏
- ◆概要 文化財マップを企画作製するミュージアム・サポーター（絵図士）を養成するため、石造物調査と拓本の取り方を学びました。養成講座終了後、グループに所属して文化財マップを作成し、5名が絵図士として認定されました。
- ◆参加人数 11人

(4) 歴史教室「古文書を読んでみよう」

- ◆開催日 平成26年6月～平成27年2月 隔月第3日曜日（午前）・火曜日（午前・午後）全3クラス各5回
- ◆会場 本館 集会室
- ◆概要 安房地域で作成された江戸時代の古文書をテキストとして、くずし字の読み方と地域の歴史を学ぶ講座です。初心者向けに3クラスを開講しました。
- ◆参加人数 日曜午前クラス38人・火曜午前クラス47人・火曜午後クラス47人 のべ参加者518人

(5) 安房学講座

- ◆開催日 ①平成26年6月7日（土）「東京湾と里見氏」／  
講師：当館館長 岡田晃司
- ②同 7月5日（土）「後藤忠明の彫刻と人物像」／  
講師：君津市久留里城址資料館主査 布施慶子氏
- ③同 9月6日（土）「房総のシオフミ祭り—海にまつわる祭り—」／講師：江戸川大学メディアコミュニケーション学部教授 高橋克氏
- ④同 10月4日（土）「日蓮と安房」／講師：立正大学仏教学部教授 寺尾英智氏
- ⑤同 11月15日（土）「旅日記にみる近世の安房地方」／講師：元国立歴史民俗博物館教授 山本光正氏
- ⑥同 11月29日（土）「大学演習林120年の歴史から見る社会の変遷」／講師：東京大学千葉演習林助教 當山啓介氏
- ⑦平成27年1月10日（土）「安房地方の化石：最近の話題」／講師：千葉県立中央博物館主任上席研究員 加藤久佳氏
- ⑧同 2月7日（土）「縄文時代の食糧」／講師：千葉県立中央博物館主任上席研究員 三浦和信氏



第5回 山本光正氏



第7回 加藤久佳氏

◆会 場 “渚の駅” たてやま 海辺の広場レクチャールーム

◆概 要 「安房の歴史と文化」及び「房総の海と生活」をテーマに、地元安房地方の研究者、安房地方を研究している研究者を講師に迎え、各分野にわたって講演を行いました。館山市文化財保護協会と館山市立博物館で組織された安房学講座実行委員会が企画運営しています。

◆参加人数 のべ479人（全8回）

#### (6)歴史教室「わたしの町の歴史探訪」

##### ①第33回 館山城下町

◆開催日 平成27年3月1日（日）13:00～16:00

※10月開催予定のところ、荒天により延期。

◆概 要 33回目となる今回は、里見氏安房国替400年特別展の関連事業として開催しました。手作りのイラストマップを片手に、里見氏の時代に城下町の商人頭をつとめた岩崎与次右衛門家が大檀那だった三福寺や、里見義康が関ヶ原の戦いの功勞で得た鹿島領の領民が構築した鹿島堀など、市内館山地区のうち館山・上真倉の寺社や史跡を巡りました。

◆参加人数 36人



三福寺

##### ②第34回 北条地区（南町・新宿・長須賀）

◆開催日 平成26年11月9日（日）13:00～16:00

◆概 要 34回目となる今回は、新・地区展「北条—にぎわう安房の玄関口—」の関連事業として開催しました。手作りのイラストマップを片手に、貴重な石造物が多く残る金台寺や、新宿の鎮守として信仰を集める神明神社、古い商家の残る長須賀の街並みなど、市内北条地区の南町・新宿・長須賀の寺社や史跡を巡りました。

◆参加人数 41人



熊野神社

#### (7)特別展講演会



講師の小島道裕氏

◆開催日 平成27年9月23日（火・祝）

◆会 場 本館 集会室

◆概 要 特別展・第I期「里見氏の遺産・城下町館山—東京湾の湊町—」の関連事業として開催しました。国立歴史民俗博物館教授の小島道裕氏を講師に迎え、「城下町の歴史—中世から近世へ—」をテーマに全国各地の城下町の事例や、館山の特徴などについてご講演いただきました。

◆参加人数 52人

## V 調査・研究活動

### 1 学芸員の活動

#### (1)岡田晃司（博物館長）

##### ◆研修等

- ・平成26年4月25日（金）平成25年度千葉県博物館協会役員会
- ・同 5月28日（水）千葉県博物館協会総会
- ・同 6月5日（木）千葉県博物館協会地域振興委員会
- ・同 11月20日（木）・11月28日（金）・12月18日（木）・1月20日（火）千葉県博物館資料救済システム地域ブロック会議
- ・同 12月12日（金）千葉県博物館協会役員会
- ・平成27年1月29日（木）千葉県博物館協会資料救済代表者会議

##### ◆講師派遣等

- ・平成26年5月21日（水）千葉県文書館古文書調査員委嘱
- ・同 5月26日（月）館山市旅館組合研修会講師「房総里見氏の歴史と遺跡」
- ・同 6月7日（土）安房学講座講師「東京湾と里見氏」
- ・同 6月21日（土）館山市中央公民館ふるさと講座講師「里見氏と館山城下町」
- ・同 9月14日（日）第3回日臨技首都圏支部医学検査学会講師「東京湾と房総里見氏」
- ・同 9月17日（水）シニアサークル シルバー大学院講座講師「里見氏の城下町・館山」
- ・同 9月24日（水）・10月7日（火）・11月5日（水）南房学園ふさの国講座講師「房総里見氏の歴史」
- ・同 10月1日（水）生涯学習出前講座（みのりの家）講師「甲冑を着よう」
- ・同 10月12日（日）江戸川区立西葛西図書館歴史講演会講師「東京湾の戦国武将里見氏」
- ・同 10月19日（日）房総里見氏170年の軌跡～里見氏安房国替400年里見シンポジウム「房総里見氏170年の軌跡」
- ・同 11月1日（土）・22日（土）・29日（土）千葉県文書館古文書講座講師「関東の戦乱と里見氏」
- ・同 11月8日（土）安房郡市退職校長会講演会講師「歴史から地域を見直そうー房総里見氏の歴史と安房地域史ー」
- ・同 11月14日（金）東京海洋大学水圏環境コミュニケーション学実習講師「西岬の文化と歴史」
- ・同 11月18日（金）安房地区公民館連携講座（見たり聞いたり安房の国）講師「里見史は変わったー研究が進むと歴史は書き替えられるー」
- ・同 11月21日（金）市川市東部公民館主催講座講師「戦国大名里見氏の興亡と南総里見八犬伝」
- ・同 12月22日（月）生涯学習出前講座（那古地区公民館）講師「身近なところに歴史があるー那古の歴史・館山市の歴史・房総里見氏から見る日本の歴史ー」
- ・平成27年2月22日（日）生涯学習出前講座（榎の会）講師「地域の歴史と風土と生活ー身近な生活が歴史になっていくー」
- ・同 2月28日（土）生涯学習出前講座（那古地区連合町内会）講師「房総正木氏の歴史と那古地区」

##### ◆原稿執筆等

なし

(2)宮坂新 (学芸員)

◆研修等

- ・平成 26 年 5 月 29 日 (木) 第 1 回文化財くん蒸技術講習会 (日本液炭株式会社主催)
- ・同 11 月 10 日 (月) ~14 日 (金) 歴史民俗資料館等専門職員研修会 (国立歴史民俗博物館)
- ・平成 27 年 1 月 29 日 (木) 千葉県博物館協会資料救済代表者会議
- ・同 1 月 30 日 (金) 平成 26 年度千葉県美術館・博物館等職員研修会 (千葉県立美術館)
- ・同 2 月 5 日 (木) 平成 26 年度千葉県史料保存活用連絡協議会第 2 回研修会 (千葉県文書館)
- ・同 2 月 10 日 (火) 平成 26 年度千葉県博物館協会研究報告会 (千葉県立現代産業科学館)

◆講師派遣等

- ・平成 26 年 5 月 16 日 (金) 千葉ふるさと文化大学生涯学習講座講師「房総里見氏の歴史と安房の寺社」
- ・同 11 月 1 日 (土) 日本福祉大学知多半島総合研究所研究集会報告「安房の干鯛」
- ・同 11 月 6 日 (木) 市原市立辰巳公民館講座「文学散歩」講師「『南総里見八犬伝』と曲亭馬琴」

◆原稿執筆等

なし

(3)池田英真 (商工観光課学芸員/博物館併任)

◆研修等

なし

◆講師派遣等

なし

◆原稿執筆等

- ・「真野寺について」(『平成 26 年度千葉県指定有形文化財木造大黒天立像保存修理報告書』所収、平成 27 年 3 月発行)

## VI 資料の収集・保存

### 1 新規収蔵資料

平成 26 年度の新規収蔵資料点数は以下のとおりです。

	寄付	購入	移管	受託	合計
点数	1546	72	23	75	1716

・受託資料のうち更新分は含まない。

#### (1) 寄付資料

寄贈者	資料名	数量
矢代嘉洋	勝浦市 石橋家文書・肥料オケ 他	10
横山芳美	館山市 吉村虎太郎肖像画	1
鈴木久代	館山市 万祝	1
金木幹人	館山市 旅館荷札貼交帳	1
石井明	館山市 オープンリールテープレコーダー	1
杉本春枝	館山市 雛人形 他	7
宮原義雄	館山市 イソガネ・ウキダル 他	5
森上守之	松戸市 沼サンゴ	52
田村浩	南房総市 暫定教科書・レコード 他	32
小林道子	南房総市 俵詰め護符	2
平野三男	南房総市 土錘・網運搬用具 他	6
尾加名博夫	館山市 君塚家文書・書籍 他	348
長井晃弘	館山市 古文書・写真 他	86
太田征彦	千葉市 海軍将校礼服帽・正肩章（箱入り）	1
石井近	南房総市 船釘・ツバノミ 他	213
瀧口和男	館山市 笠屋通い徳利	1
浅井志保子	館山市 古文書・御用船印・富士講行衣 他	335
尾形優	南房総市 醤油醸造道具 他	66
神作英毅	館山市 安房復興館写真 他	5
花輪英洋	南房総市 ツノダル・菓子販売用ガラス瓶 他	29
嶋田美智子	館山市 弁護士業務関係資料・書画 他	296
吉田澄枝（光風苑）	館山市 人形	3
矢矧文子	館山市 海岸ホテル写真アルバム	1
平嶋義久	館山市 古文書・ガラス製火屋	42
鎌田幸治	館山市 折尺・計算尺	2

・一部を除く。

## (2)購入資料

資料名	数量	資料名	数量
版画「犬村角太郎」	1	版画「犬塚信乃成孝 空作むすめ浜路」	1
房総御台場略図（肉筆彩色）	1	絵はがき（「房州大地震惨状」）	9
『千葉教育会雑誌』第95～131号	37	版画「三十六花草の内葭芦 犬田小文吾 大谷友松」	1
『房総及房総人』第6巻第2～12号	11	版画「里見八犬伝 犬塚信乃」	1
明治末期写真「那古の観音」他	6	版画「諸国海岸御固場所」	1
江戸湾御固図	1	版画「俳優見立給金競」	1
山口志道稿本「夢之浮橋」	1	—	—

## (3)移管資料

資料名	数量	旧保管者
福祉大相撲館山場所関係資料	8	館山市役所社会福祉課
館山海軍航空隊給水管・パッキン	2	三芳水道企業団
館山市民センター落成記念行事写真	6	館山市役所管財契約課
掛軸・絵画	4	館山市役所管財契約課
神余かつこ舞獅子頭修復記念行事ポスター	1	館山市役所生涯学習課
里見氏安房国替400年行事チラシ・ポスター	2	館山市役所企画課

## (4)受託資料

受託者		資料名	数量
福原宣之	南房総市	彫刻（小島靖成作）	2
嶋田美智子	館山市	古文書	69
犬石区長 芝田拓児	館山市	犬石区有文書	一括
井原重之	佐倉市	刀（中山義真作）・打刀拵・掛軸	3

## Ⅵ 例規

### ○館山市立博物館設置条例

昭和57年6月26日条例第15号

(設置及び目的)

**第1条** 本市は、博物館法(昭和26年法律第285号。以下「法」という。)第18条の規定により、市の歴史、芸術、民俗、産業等に関する資料を収集し、保管し、及び展示して一般公衆の利用に供するとともに、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、あわせてこれらの資料に関する調査研究を行うため博物館を設置する。

(名称及び位置)

**第2条** 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
館山市立博物館	館山市館山351番地の2
館山市立博物館分館	館山市館山1564番地の1

(所管)

**第3条** 博物館は、館山市教育委員会(以下「教育委員会」という。)の所管に属する。

(事業)

**第4条** 博物館は、法第3条第1項の定めるところにしたがい、おおむね次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 実物、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム等の博物館資料を豊富に収集し、保管し、及び展示すること。
- (2) 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行い、報告書等を公刊すること。
- (3) 博物館資料に関する講演会、研究会等を開催すること。

(職員)

**第5条** 博物館に館長及び学芸員のほか必要な職員を置く。

- 2 前項の館長は、非常勤とすることができる。

(観覧料)

**第6条** 博物館の観覧料は、次のとおりとする。ただし、市内に住所を有するものはその半額とし、10円未満の端数は切り上げるものとする。

区 分	観覧料(1人につき)		
	個人	団体	
常設展	小学校・中学校・高校生	150円	100円
	一般	300円	250円
特別展	1人につき500円以内で、その都度別に定める。		

(観覧料の減免)

**第7条** 市長は、公益上その他必要と認めるときは、観覧料を減免することができる。

(既納観覧料の還付)

**第8条** 既納の観覧料は、これを還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、還付することができる。

(博物館協議会)

**第9条** 博物館に館山市立博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

- 2 協議会の委員(以下「委員」という。)は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から教育委員会が任命する。

- 3 委員の定数は、7人以内とする。

- 4 委員の任期は2年とし、欠員が生じた場合の補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

(委任)

**第10条** この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が規則で定める。

### 附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、昭和57年10月1日から施行する。

### ○館山市立博物館管理規則

昭和57年9月23日教育委員会規則第8号

(趣旨)

**第1条** この規則は、館山市立博物館設置条例(昭和57年条例第15号。以下「条例」という。)に基づき館山市立博物館(以下「博物館」という。)の管理に関し、必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

**第2条** 博物館の開館時間は、午前9時から午後4時45分までとする。ただし、入館することができる時間は、午前9時から午後4時30分までとする。

- 2 館山市教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、特に必要があると認めるときは、前項の開館時間を変更することができる。

(休館日)

**第3条** 博物館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 毎週月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日に当たるときは、その翌日)
- (2) 12月29日から翌年の1月3日までの日

2 教育委員会は、特に必要があると認めるときは、前項の休館日を変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

(観覧の手続)

**第4条** 博物館に入館し観覧しようとする者(以下「観覧者」という。)は、条例第6条に規定する観覧料を納付し、個人観覧券(別記第1号様式)又は団体観覧券(別記第2号様式)の交付を受けなければならない。

2 団体(20人以上の場合をいう。)で観覧しようとするときは、あらかじめ団体観覧申込書(別記第3号様式)により申し込まなければならない。

(観覧料の免除)

**第5条** 条例第7条の規定により、観覧料を免除することのできる場合は、次のとおりとする。

- (1) 市内に住所を有する65歳以上の者が観覧するとき。
- (2) 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)で定める身体障害者が観覧するとき。
- (3) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)で定める精神障害者が観覧するとき。
- (4) 市内に所在する老人ホーム、福祉作業所その他の福祉施設の入所者が、当該施設の職員の引率で観覧するとき。
- (5) 市立の小学校及び中学校の児童及び生徒が、学校行事として観覧するとき。
- (6) 前各号に定めるもののほか教育委員会が公益上必要と認めるとき。

2 観覧料の免除を受けようとする者は、前項第1号から第3号に規定する場合を除き、あらかじめ観覧料免除申請書(別記第4号様式)により、教育委員会に申請しなければならない。

3 教育委員会は、観覧料を免除したときは、無料観覧券(別記第5号様式)又は団体等無料観覧券(別記第6号様式)を交付するものとする。

(入館の制限)

**第6条** 館長は、次の各号の一に該当する者に対して入館を禁

じ、又は退館を命ずることができる。

- (1) 所定の観覧券を所持しない者
- (2) 指導者、保護者又は付添人のない6歳に満たない者
- (3) 泥酔者その他観覧者に不快の感を与えると認められる者
- (4) その他管理上支障があると認められる者(禁止行為)

**第7条** 観覧者は、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 博物館資料をき損し、又は汚損すること。
- (2) 許可なく博物館資料を模写し、又は撮影すること。
- (3) 所定の場所以外で喫煙又は飲食すること。
- (4) その他、他の観覧者の妨げになる行為をすること。(損害賠償)

**第8条** 観覧者は、博物館資料、建物若しくは備品等を損傷し、又は滅失した場合には、これによって生じた損害を賠償しなければならない。

(委任)

**第9条** この規則に定めるもののほか、博物館の管理及び運営に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

**附 則**

この規則は、昭和57年10月31日から施行する。

## ○館山市立博物館協議会運営規則

昭和59年4月24日教育委員会規則第4号

(趣旨)

**第1条** この規則は、館山市立博物館設置条例(昭和57年条例第15号)第10条の規定により館山市立博物館協議会(以下「協議会」という。)の運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(会長及び副会長)

**第2条** 協議会に会長及び副会長各1人を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。
- 3 会長及び副会長の任期は、2年とする。
- 4 会長は、協議会を代表し、議事その他の会務を総理する。
- 5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

**第3条** 協議会の会議(以下「会議」という。)は、必要がある場合において、会長が招集する。

**第4条** 会議は、委員の2分の1以上の出席がなければ開くことはできない。

2 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(関係職員の出席)

**第5条** 関係職員は、会議に出席して意見を述べるができる。

(庶務)

**第6条** 会議に関する庶務は、館山市立博物館において処理する。

(委任)

**第7条** この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

#### 附 則

この規則は、公布の日から施行し、昭和59年4月1日から適用する。

附 則 (平成17年8月19日教委規則第11号)

この規則は、公布の日から施行する。

#### ○館山市博物館資料選定基準

(趣旨)

1 館山市博物館に関する資料の取得のために、館山市立博物館資料選定基準を定める。

(取得)

1 博物館資料(以下「資料」という。)は館の性格に留意し、選定項目にそって取得する。

2 評価については、1点100万円をこえるときは、館長の依頼する資料評価委員の評価を求める。

3 選定にあたっては、必要に応じ、館長の依頼する資料審査委員に意見を求めることができる。

(貸与期間等)

1 館山市の歴史や民俗に関する資料であること。

2 里見氏に関する資料であること。

3 「里見八犬伝」に関する資料であること。

4 1・2以外の資料で、館山市や安房郡の歴史や民俗に深いかかわりのある資料であること。

5 1・2・3以外の資料で、系統的に、あるいは種類や変遷等で、館山市の歴史や民俗の理解に役立つもの。

6 その他、当館の性格に照らして、必要な資料であること。  
(選定の視点)

1 展示構成の体系にそっているもの。

2 個性的で特色のあるもの。

3 学術的に価値の高いもの。

4 歴史的に地域性を備えたもの。

5 保護の必要性が要求されるもの。

6 将来の展望のなかで、価値や必要性を見通せるもの。

(取得対象)

1 絵画 ・錦絵・合戦絵・絵草紙・文人画 など

2 彫刻 ・武将木像・欄間彫刻 など

3 工芸 ・甲冑・刀剣・鉄砲 など

4 書跡 ・文人墨蹟 など

5 考古資料 ・個人所有の埋蔵文化財 など

6 歴史資料 ・古文書 など

7 有形民俗文化財

8 その他

#### 附 則

この基準は、昭和57年6月1日から実施する。

**館山市立博物館年報**

平成 26 年度版

発行日 平成 27 年 9 月 30 日

編集・発行 館山市立博物館

〒294-0036 千葉県館山市館山 351-2

TEL 0470-23-5212 FAX 0470-23-5213

<http://www.city.tateyama.chiba.jp/hakubutukan>